

もおおおっ。家族に聞かれたらどうするの？。怒っちゃうぞ。

私たち、まだ未成年なんだから。そういうのはぶつぶーだから！

だからその……ひやつ——お、お父さん！？

あああああちがつちがつ、違うよ、お昼は暑いけど夜は涼しいって話！

他愛ない話をしてたの？！ うん、そうだよ。あははは……。

スイカ？ は、はーい。今行くから待ってね。

あー、もしもし！

ごめんね、呼ばれちゃつたからまたあとでお話ししようね。

…………聞かれちゃつたじやん。

お父さんすゞぐニヤニヤしてたよ、この……すけべつ。

もしもし。愛だよ。

あ、うん。ちょっとお散歩してたの。

みんな酔っぱらっちゃつてね。お母さんに行つておいで、つて。

気を遣われちゃつた。

……うん。暗いけど、君の声を聴いてると隣にいるような感じがして……えへへ。

それに月明かりが綺麗だからさ、ちゃんと道も見えるよ。

心配してくれてありがとう。

なんか田舎の夜って、ひとの生活音がないんだね……。

虫やカエルの声はBGMみたいだし、逆に落ち着かない感じ。

えつ。だ、大丈夫だよ。電話に夢中で田んぼに落ちるなんてそんな、

とつてもおばかさんじやん。私ってそんなドジに見えるの？

もー。君だつてほら、何もないところでつまづいたりしてた事あるでしょ？。

あわてんぼさんなんだから、私の方がいつもひやひやしてるんだからね？
うふふつ。ドジ／＼ あはははつ。

……ほんと、静かだなあ。車もひともいない、ただ田んぼと山だけ……。
……ねえ。こうしているとね、まるで世界に君と私しかいなって思えるんだ。

もし世界から君がいなくなつたら……って思うと怖いけど、

君さえいれば私は……生きていく。とっても幸せに……。

こんな闇の中でも、君は……あの月みたいに輝いて見えるんだろうなあ。

……ううう……。好き……。

我慢しようかなって思つてたけど、やつぱり言つちやつた♪

すきすきすきすきつ。だいすきつ。

君も好きって言つて。

……はああ♪ うん、私も好きい……。

ふえ。そ、そんな、まあ確かに誰もいないからっていうのもあるけど。

あつ。だ、ダメだよ、すけべな話はダメ！

……なんて声出してるの、もおお。昼だからとか夜だからとか、

関係ないってば。そういう気分のときにそういう話をするものでしょ？。

へつ。そ、そういう気分……つて、だあかあらつ！ このへんたいつ！

デリカシーなすぎだよ、君は。愛の顔も三度までなんだよ？

いくら君でも……いくら好きで好きで好きで好きでたまらない君でもさつ、

限界はあるんだよ？

……うう。た、たしかに最後には許しちゃうかも……だけど……。

ああう……君の言葉には逆らえないんだなあ、私……。

いや、こんな私じやダメだ。だつて、決めたもんね。

君に依存はしない。私は君と対等に生きるんだつて。

たとえ君が、君が……あまい言葉で誘惑してたって、ま、負けないよ。

黒崎愛、強くなります！ もうへこたれません！

……まあ、具体的に何がどうだとかはないんだけどね、あはは。

（打ち上げ花火）

わあ。

聞こえた？ 花火だよ、花火つ。どこかでお祭りやつてるのかな。

……君と見た花火……綺麗だつたなあ。

覚えてる？ 君がさ……花火より愛の方が綺麗だよ、つて……言つてくれたの。

私あの時ね……恥ずかしいのと嬉しいのと、

つて、身から出た鏽なんだけどね、あはは……。

あ、でもね、いざとなれば君の携帯も家電話も番号を覚えてるからね。

親戚の電話からだとお金かかっちゃうから……電話ボックスからかけるもん。

……たぶん生涯でいちばん十円玉を消費するひときになりそうだけど。

え？ うん。君の情報はぜーんぶ知ってるし、記憶しますよー。

ん？ んーと、生年月日とか住所とか、好きな色とか、苦手な食べ物とか……

足のサイズ、身長、体重、血液型……

あとは一日に行くお手洗いのかいすあああ違う違う違う違う、言い間違えた。

ていうか違う。全て違うから。今の忘れて。何かと間違えただけだから。

ち・が・う・か・ら。

うん、よろしい。……忘れてね？ 見てるからね、ずっと……ふふ。

あーあはは……暑くて頭が変になっちゃってるのかなー。

(ごくつごくつ) ……ふうう。

あ、ありがと。ちゃんと水分とつてるよ。逆にとりすぎて汗かいてるのかも。

……汗つかきだからね、私 (小声)。

ううん何でもない。……冷房？ あ、この部屋は置いてないから、

扇風機でなんとかしのいでます。

だつて皆にお話聞かれたくないもんつ。恥ずかしいもんつ。

え、そ、そりやあ、いつか一緒にお話しする事もあるだろうけどさ。

まだなんか、その、……君を独り占めしたいのつ。

君と過ごす時間に誰かを介入させたくないのつ。……ううはずかしい。

もう、体温上がつちやうからやめてよ……。あつつい……。

あうー……今日ばかりは海に行きたいなあ。君と二人で……。

んー……？ みずぎ……？ そうだね、水着……。

あつ……！ い、いつかのああいうのはもうしないからねつ。絶対！

あれだよあれ。君の部屋で、……み、水着に着替えて…… (小声)。

あんなのハレンチだよつ、すけべだよつ。

いいですか、水着はプールや海で着るものです！ 分かりましたか？

……うん、……本当に分かってる？

分かってないよね、それ絶対分かってない時の返事だよ。もうつ。確かにさ……あれば君に見せる為に……買ったものだけど。あああなしなしなしつ、今になしつ。

そ、そんな事よりほら、旅行のお話進めようよ。ねつ。

ええと、そうだなあ。私、あんまり観光地とか詳しくなくて……。

……温泉？ いいねえ、温泉。露天風呂とか好きだなあ……。

サウナ……は、ちょっと苦手。なんか、暑くて怖いから……。

えつ。す、すごい。そんなに長く入っていられるものなんだ？

へええ。……君と一緒だつたら私も……いやいやいや、絶対ムリ。むしろ熱暴走しちゃうよ。壊れちゃうよ私。

へ……？ あつ、ああああ、そんな意味で言つたわけじやつ……。

こつこここ混浴なんて、もおつ！

今日の君はスケベすぎるよつ。こ、こら、言い訳しないの！

えつ。……そ、それ、ずるい。……私だつて、うん……君と、

一緒にお風呂……入りたい……よ。

／＼＼＼＼ツ……。

おわり！ もう店じまいだよ！ ほら、旅行でしょ旅行！

そうだつ、海の目の前に泊まれるところつてあるかな？

オーシャンビューリつていうやつつ。ああいうの憧れてるんだ。

伊豆？ 静岡……だよね。海がとっても綺麗なところ。

うん、確かに長野よりは近いかも。……いいなあ、行きたいな。

連れてつてくれるの……？ 嬉しい♪

海かあ。海鮮丼とかあるかなあ。食べたいなあ。

えつ、な、なにそれ！ 私そんないつもいつもご飯の話してないよ！？

なにもう！ まるで食いしん坊みたいに言つて……！ ぶうーつ！

君だつてさー！ 深夜にカツラーメン食べるじやん！

不健康の極みだよ、極み！ そんなんじや身体壊しちゃうよ！

イヤだよ私、君が病気になんかなつたりしたら……心配で死んじやうから。

……健康管理も……私がするべきだなあ……。 (小声)

ん？ いえいえ、こっちの話です。

むつ。聞こえちやつた？

でもこれは譲れないよ。……私は、君の……お嫁さんになるんだから。

君の体調をしつかりサポートするのは私の役目。

多少苦手なものでも、バランス良くちゃんと食べないとダメだよ？

……一緒に住んで、私が料理を作るようになつたら……、

君が食べやすいように、一生懸命頑張るから。だから、君も頑張つて？

……うん♪ その返事は、分かつてゐる声だね。えらいえらい……♪

君の毎日を応援する愛です。いつもおそばに置いてください……♪

……たくさん、ぎゅーつてしちやうから。ぎゅーつて。えへへへへ。

君もお……ぎゅーつてしてえ……？

えへ……えへへへ。しいああわあせえ……♪

……ふあああ……。

へえ……？ 平気だよ、うん。どこかおかしいかなあ……？

あー、うん、まあ、ちょっととぼーっとしてゐるかもー。なんでだろー。

もしかして水分足りてないー？ ちょっととまつててねー。

(ごくつごくつ) ふはあ……。

えー？ なに？ んー、炭酸のジュースだよ。

しゅわしゅわーはちよつぴり苦手だからちびちびつて飲んでるんだけどねー、

甘くておいしいから好きかもー。

ほろほろよいよいつていうのー。冷えてておいしいよー。

……え、なんでー？ おいしいよー、君にも分けてあげたいなあー。

あは、えへへ。好き、好き、すきすきすきすきすき。

だいすき、すき、あいしてゐる、もうたまらないくらいすき。

ぜんぶちようだい。ぜんぶあげるから、君のぜんぶ、ちようだい。

君のぜんぶ、愛のものだよ……。

愛の……あい、の……あ……わ……。

……あるえ？ デーしたの、おにーさーん。

ねえーいま好き彼とお話してゐるのー。なんかこうすきすきだいしゅきーつて、

温泉がサウナで混浴でおほほいおほほいってー……あつ。なにするのー！ 愛のほろほろよいよいとつちやだめー！ だーめーだーよー！ かえしてー！

あああもお。……なんがざあ、お水飲めて言われちやつたからあ、いつたん切るね。大好きだから切るー。大好きだから。

ねえほんと好き。好きだよ？ 大好き……また明日、昨日？ あとでね。

▲酔い醒めのち雨アルコール

あつ……じ、ごめん……なさい。

あああのあの……ああ……私、ほんと……とんでもない事を。

どうしよう、どうしよう。

まさかほろほろよいよいが、……あああごめんなさいごめんなさいつ。

許してつ……お、怒らないでつ。反省してますつ。してゐからつ……。

……ほ、ほんとつ……？

……うう、怒るどころか私の身体を……やさしすぎるよお、君は……。

うん……昨日の飲み残しが冷蔵庫に入つてたの。

度数が弱いから誰も飲まなかつたらしくて、それで……。

ただのオレンジジュースかと思つて飲んだのに、おまぬけだなあ……。

……私ね、あんな感じになつても全部記憶に残つちやうタイプみたいです。

本氣で穴に埋まりたい……一生の黒い歴史になりそうだよ。

あんな私の事、嫌いにならない？

……ほんとに？ ほんとにならない？ ……う、うん。信じてるけど。

うううう……もある意味、不幸中の幸いだつたよ。

変な事口走つちやつたけど、取り返しのつかないような事言わなくてよかつた。

えつ？ い、いや、別にそんな秘密とかはないんだけどさ、あれだよ、

思つてもないような変な事、うつかり口滑らせちやつたりしたら……さ。

言葉つて、救いにも絶望にも変わるものだし。

災いの元つて言うくらいだもんね。心から安心しました……はあ。

体調管理がどうとか偉そうな事言つておいて、私つたら……。
あ、は、はい。そうだね、くよくよしても仕方ないよね。
ふうー。

……あれ?
涼しいと思つたら、雨だ。……静かな雨。

あ、初夏に降るのはね、緑雨（りょくう）っていうんだって。

綺麗な言葉だよね。

東京はどうなのかな。そつか、晴れてるんだ。何だか不思議な感じ。

……蛙が嬉しそうに鳴いてるなあ。かわいい♪

でも……蛙って、こんなにたくさんいるんだね……。

げろげろ、げろげろって。まるで合唱みたい。

もしかしたら、季節外れの卒業式をやつてるのかもしれないね。

あの低い声は君で……ちょっと声が小さいのが私かな? ……ふふつ。

え、あ、アルコールは入つてないよ。もう大丈夫だつてば。

ああ、でも……うふ。すこし、すこしだけ、夏の夜に酔っぱらつてるかもね。

ふふふ、今日の愛はちょっと大人です。

いつも君の方が大人っぽいから、たまには良いでしよう?

ほら、おいで? 今日は私が君を甘やかす番だよ……♪

よーしよし、いい子♪ 今日も頑張つたんだねえ、え・ら・い・よ♪

……あれ? なんか、いつも変わらない気がするんだけど。

もしかして普段から私の方が……なのかな? かな?

へつへーん♪ どうだあ、愛は君より大人だぞ。お姉さんだぞ。

愛お姉ちゃんに何でも言つてごらん? 何でもしてあげるよ。

あつ……やっぱり、何でもはダメ。取り消し。

なあにその残念そうな声はつ。……君、どうせスケベな事言うもん。

分かってるんだからね? やれやれだよ、まつたくもう。

……ああそうだ。お姉さんで思い出しちやつた。

ほら君、この前サークルの勧誘で、無理やりだけど連絡先交換してたよね。
あの綺麗なお姉さん。……確か、水島さんだつたかなあ?

本当に強引で君を困らせてさあ……私、怒ろうとしちやつたんだよ。
君だって本心は交換したかったわけじゃないもんね……。
え?

ああうん、あの時ちょうど近くにいたから、見てただけ。

君を追つかけてたわけじゃないから。そんな事ないから。ね。違うよ。

ともかくあのひとは危険だよ。もう近づいちやダメだよ。

だって水島さんの目……君をずっと見てた。あの眼光は……きつと……。

……私の大切なひとをたぶらかそうとするなんて、許さないぞ……。

まつたく、少しおもを離したら君を狙うひとたちが沸いてくるなあ。

ボウフラじやないんだから、ぶんぶん。

あれ、声が震えてるけど……だいじょうぶ? どこか悪いの……?

も、もしかして風邪かな……心配だよ……。

へつ? 私は大丈夫だよ。正常だよ? ほら、変なところないでしょ?

……な、なに、いつも変つてー! そんな事ないよ!

いじわるう。……でも、そんなじわるな君も……好き。大好き。

あいらぶゅー♪ えへへへへ。

……だ、だからアルコールはないつてば。

そんな心配してくれるのは嬉しいけど、本当に大丈夫だから。

ただちよつとだけ……今日は……君が愛しいんだよね。いつも愛しいけどさ。

何でだろう。遠くにいるからかなあ。すぐに会えないからかなあ。

あ、なんか……すごく寂しくなってきた。

もつと喋つて。もつと話しかけて。……もつと……温もりをください。

……、……あは♪ そんなに好き好きって言わなくともお……♪

私も大好きだよ? うん、好き好き♪

どうしよう。長野に来てから……君成分が足りなさ過ぎて、

電話で満足できないよ。君に会いたい。君を見たい。君と……ふれあいたい。

全身で君を感じたい。風みたいに、君を浴びたい。ああ、おかしくなりそう。
うう。私、ね。君を困らせないように頑張つて……ここにいる間は、
想いを留めようつて考えてたんだ。

電話をかける前まで大丈夫なんだけど、でも、うん……こうして声を聴くと、

もうダメだね。頭の中に君の音がぼわ～って広がつて……幸せになつて、

気持ち良くなつちゃうの……。君しか考えられなくなるの。

一秒、一時間、一日……時計の針が進めば進むほど……君への「好き」が、

積み重なつていつてるような……そんな錯覚に陥つて。

錯覚じゃないのかな？ これが現実なのかなあ……？

……なんて幸福な現実なんだろう。

君には依存しないと決めたあの日から……

君と対等になろうと努力すればするほど、どんどんどんどん、

なんて素敵なひとなんだろうつて、とつても魅力的なひとに見えるんだ。

君はいつも謙遜するけど、その度に私、そんな事ないよつて本心から思つてる。

ねえ。

情けない弱音、吐いていい？

……ありがとう。

……足りない。足りないんだよ。

私の気持ちはまだまだ君に追いつけないの。だから……わがままだけど、

待つてほしい。私が君と同じ目線に立てるまで、待つてほしいんだ……。

君は眩しそぎて、私は足が遅すぎて……このままだと挫けちゃいそう。

君を追いかければ追いかけるほど、君の見てる私が何者か分からなくなつちゃう。

ねえ、教えて。

私は、黒崎愛は……君にとつて、何ですか……？

……。

ああ。

(キス)

ださいすき……、きょうは……君に酔わせて。お願ひ……。

5.無題の日

(コール音)

はい。君の黒崎です。ただいま電話に出られません。ごめんね。本当にごめんね。すぐにかけ直します。

(コール音)

はい。君の黒崎です。ただいま電話に出られません。ごめんね。本当にごめんね。すぐにかけ直します。

(コール音)

6.ラストコール

……愛だよ。こんばんは。

昨日はごめんね。ちょっと……出られなくて。

不在着信……すごかつた。

……どうして謝るの？ ……迷惑なんて、そんな。大丈夫だよ。

え？ なにが？ ……変つて？ 私が？

そうかな。まあ、そうかもね。気にしないでくれていいよ。

うん。心配ありがと。

……もう、切つていいかな？ うん。ごめんね。

……怒つてなんかないよ？ どうして私が怒るの。

何か悪い事でもしたのかな。

ううん、思つてないよ。君の事、信じてるもん。

……そんなに焦つてどうしたの？ 君いつも落ち着いてるのに、やけに慌ててない？

ほら、調子が悪いなら早く寝た方がいいよ？

……大丈夫そうな声には聞こえないけど？

え？ ああ、うん、今はもう東京に帰ってきてるよ。

お昼にはもうついてたから。

そんな事より、ほら、もう寝なつてば。

明日はバイトの日でしょ？ 夜更かしは身体に毒だからね。

一人暮らしだからってさ、自分のペースで生活しすぎだよ。

じゃあね、バイバイ。

(ぶつっ)

……。

……。

……。

(着信音)

なんで電気がついてるのかな。

寝なさいって、言つたでしょ？

……私？

さあ、どこにいるんだろうね。

……。

(ガチャツ)

……もしもし。

電話してた相手が目の前にいるなんて、おかしいなあ。

とつてもおかしい。

ふふつ。あはははつ。

……びっくりした？

寂しかった？ 私に嫌われちゃったと思った？

ふふつ。ちょっぴり意地悪だつたかな。

まあ、君の意地悪さには負けちやうよ……でも、やつとこれで……

君に追いつけた気がする……♪

もしもし。ねえ君、驚きすぎておばかさんな顔してるよ。

夢にも思わなかつた、つて顔。 おばかさんみたい。

……ねえ。

好き。

大好き。

抱きしめていい？ それとも抱きしめたい……？

ダメだよ。だつて、私たちは同じところに立つてるんだから……。

抱きしめ合わないと……ね？

……ん♪ ……温かい……？ 夏なのに季節外れな言葉だね……。

もう、力強いよ君……私、壊れちやうよ……。

んー……？ うふふ。昨日はね、君から電話がくるたび……嬉しくて、

ずっとドキドキしてた。通話ボタンを押したくてたまらなかつたよ。

でも、この為に頑張つたよ。私だってやるときはやるでしょ……？

私、不器用だから……こんなやり方しか思いつかなくて。

……ラストコールだと思った？

えへへ。大外れです。……これからも、ずっと……ずっと……

一緒だよ……愛してるもん……。

(終)